

平成18年度

病害虫発生予察特殊報(第2号)

平成18年6月28日
神奈川県病害虫防除所長

病害虫名：トビイロヒョウタンゾウムシ
Scepticus uniformis Kôno

作物名：野菜類全般（トマト、ピーマン、エダマメ、サヤインゲン、
スイートコーン、ハウレンソウ、ゴボウ、タマネギ）

1 発生経過

- (1) 平成18年5月に病害虫防除員から、県内で栽培されている野菜類にゾウムシが寄生し、食害を受けているとの連絡を受けた。
- (2) 5月11日に現地を調査したところ、約10aの圃場で栽培されている各種野菜類で葉縁の食害痕を確認した。また、食害中のゾウムシが観察された。
- (3) このゾウムシを甲虫研究家の平野幸彦氏（小田原市）に同定依頼をしたところ、トビイロヒョウタンゾウムシと同定された。
- (4) トビイロヒョウタンゾウムシによる経営的栽培野菜類への被害は、本県では初めての確認である。

2 形態および生態

(1) 形態

コウチュウ目ゾウムシ科の昆虫で、老熟幼虫は体長約8mmの無脚で乳白～黄白色、頭部は褐色のウジムシ状である。蛹は乳白色で体長7～8mm。成虫は、体長6～8mm、頭部が小さく胸部と腹部が大きいヒョウタン形、灰褐色～黒褐色で灰色や暗色の鱗片を装う。後翅は退化しており、飛翔することはできない。ハイイロサビヒョウタンゾウムシともいう。

(2) 生態

成虫が野菜や畑作物の葉を、幼虫が根部を食害する。年1回の発生で成虫・幼虫とも周年見られ、被害時期は越冬成虫の活動が始まる4月中旬から8～9月頃までである。越冬は10月頃から成虫と幼虫の一部が、耕地とその近辺の草地などで土壤中に潜って行く。また、砂質土壤に発生が多い。

3 被害および寄主植物

(1) 被害

本県で被害が確認された作物は、トマト・ピーマン・サヤインゲン・エダマメ・ハウレンソウの葉の食害、生育初期のスイートコーン・ゴボウの食害・枯死、タマネギ鱗茎・根の食害である。

日中は被覆マルチの下や野菜残渣の下などに隠れていることが多い。

(2) 寄主範囲

寄主植物の範囲は極めて広く、成虫はニンジン、ネギ、ゴボウ、ハウレンソウ、ダイズ・アズキ・エダマメ・サヤインゲン・ラッカセイ等の豆類、スイカ・カボチャ・キュウリ等のウリ類、ナス、スイートコーンなど野菜類全般。幼虫は、土中でゴボウ、ニンジンなど根菜類やラッカセイ等の表面を食害する。

3 防除対策

(1) 飛翔できないため、移動は歩行または人為的によるものである。このため、苗の移動等に注意する。

(2) トビイロヒョウタンゾウムシに適用のある薬剤

作物名	薬剤名	対象害虫名	使用時期及び回数	倍率又は散布量
カンショ	ノーモルト乳剤	ハイロサビヒョウタンゾウムシ	[7日、2回]	1,000倍
ゴボウ	ノーモルト乳剤	ゾウムシ類	[7日、4回]	1,000倍
ゴボウ	トクチオン細粒剤F	ヒョウタンゾウムシ類	[生育初期(90日、4回)]	6kg
ラッカセイ	トクチオン細粒剤F	ヒョウタンゾウムシ類	[生育初期(60日、2回)]	9kg



トビイロヒョウタンゾウムシ成虫



ゴボウ（生育初期）の食害痕



ホウレンソウの食害痕



ピーマンの食害痕



スイートコーンの食害痕
と成虫



タマネギの食害痕

神奈川県病害虫防除所
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
テレフォンサービス 0463-58-6612
<http://www.agri.pref.kanagawa.jp/boujoshou/top.asp>

